

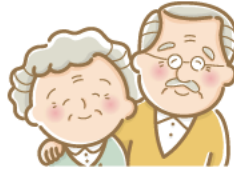
そこに暮らしたいと思う人の  
誰もが暮らし続けられるために

青木 謙順 議員  
(自民・無所属議員団/津市選出)

**問**

② 超高齢化地域では、医療や災害、移動手段への不安など、さまざまな課題があります。一方、こうした地域は、自然環境の保全や良好な景観の形成など、公益的な役割を担っています。

地域で暮らしたいと思う人の誰もが暮らし続けられる自立・持続可能な地域社会を形成するための対策と、県のどこが責任を持って施策の進行管理や全体調整を行うのか伺います。



**答**

市町や大学等と連携して「超高齢化地域の在り方」について調査し、「コミュニティの再生」等の方向性を整理しました。

いくつかの市町で始まりつつある検討等を支援するとともに、医療体制の整備や移動手段の確保に関しても、第二次戦略計画に基づき、政策部を中心に関係部が連携して取り組んでいきます。

○教育問題 ほか

県民の暮らし・生活の基盤となる「安全・安心」と「信頼」

舘 直人 議員  
(新政みえ/三重郡選出)

**問**

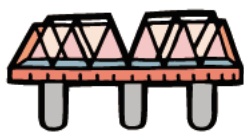
平成20年の豪雨により、県道湯の山温泉線の斜面崩壊、路肩決壊があり、湯の山地区が孤立しました。また、観光シーズンには大渋滞が発生し、緊急事態の発生に対応できない状況です。

湯の山地区から国道477号にアクセスするバイパスとして計画されている湯の山大橋(仮称)は、この地区にとっては命の架け橋だと考えます。今後の整備の予定を伺います。

**答**

昨年の秋の災害で、湯の山温泉線が二度通行止めになり、観光客や住民に大きな影響が出ました。

湯の山温泉は県内有数の観光地であり、安全の確保と観光の振興の観点から、災害に強い迂回ルート整備が必要と考えています。地元理解と協力を得ながら湯の山大橋(仮称)の整備について努力していきます。



○林業の振興と森林の再生 ほか

医療に関する諸問題

山本 教和 議員  
(自民・無所属議員団/志摩市選出)

**問**

県立志摩病院は、現在の経営形態では医師の確保などが難しいため、指定管理者制度を導入して経営改善を行う案が示されました。現在、内科医の半減により完全紹介をとるなど医師不足は深刻であり、地域の住民は不安で一杯です。

指定管理者制度導入でどうなっていくのか、将来の希望が持てるビジョンを示し、地域の住民に安心を与えることが大切ではないでしょうか。

**答**

志摩病院は、県立病院として引き続き維持し、医師確保と運営体制の改善を図るため指定管理者制度の導入を考えています。

指定管理者の指定にあたっては、他の公立病院等と連携して救急医療体制を維持することなどを条件とし、今後とも地域医療の確保に最大限の努力を続けていきます。

○教育に関する諸問題 ほか

県立病院改革に関する考え方

中村 勝 議員  
(新政みえ/鳥羽市選出)

**問**

医療費の抑制策が続き、医師不足、看護師不足が顕在化する中、県立病院を取り巻く環境は嵐が吹き荒れる状況にあります。

「県立病院改革に関する考え方(基本方針)案」で、県立病院の経営形態の変更などが示されました。それは、嵐の中で家を建て替えるようなものであり、もっと先を見定めることが第一だと考えますが、いかがでしょうか。

**答**

県立病院改革は、病院の存続すら危惧される厳しい状況を克服するために、決して先送りできない課題です。

基本方針案は、地域の住民に必要な医療や県立病院の役割は何かという視点から検討し作成しました。今後とも関係者の意見を伺いながら、基本方針をできるだけ早く決定し、着実に実行したいと考えています。



○雇用対策 ほか